



／ タイミーなら、欲しい時間の働き手がすぐ見つかる！ ／

スキマバイトサービス
法人利用率 ※

No.1

調査期間：2025年05月30日～2025年06月02日
調査対象：勤務先の民間企業で、スキマバイトサービスを通じて1年以内に求人掲載したことがある男女1,032人
調査方法：インターネット
調査委託先：マクロミル

／ タイミーの3つのポイント ／

01

1,420万人を超える
ワーカーが登録

たくさんのワーカーが登録しており、高いマッチング率を誇ります。前日や当日の求人掲載でも、人手を確保できた事例が豊富です。

※登録ワーカーのデータは、2026年4月末時点のアプリ登録数を基に算出。

02

ワーカーの80%以上
が10代～40代！
※2025年12月時点

スマートフォンアプリで提供しているサービスのため、ワーカーのほとんどを比較的若い年代が占めています。

03

長期採用可能！
長期の人手不足にも！

短期の労働力不足の解消はもちろん、働き手を長期採用可能！有望な人材を長期採用することで、長期的な人手不足の解消にも貢献します。

タイミーは、働きたい時間と働いて欲しい時間をマッチングするスキマバイトサービスです。企業は来て欲しい時間や求めるスキルを指定するだけで、条件にあった働き手が自動マッチングします。規模や時間を問わず、あらゆる業種で利用可能です。

この時間だけ働きたい！

この時間だけ働いて欲しい！

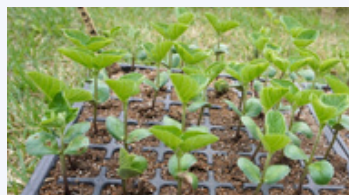


農業でもタイミーの導入事例が増えています！

↓土作り



↓定植



↓野菜・果樹の収穫



↓草取り



↓家畜の世話



↓選果

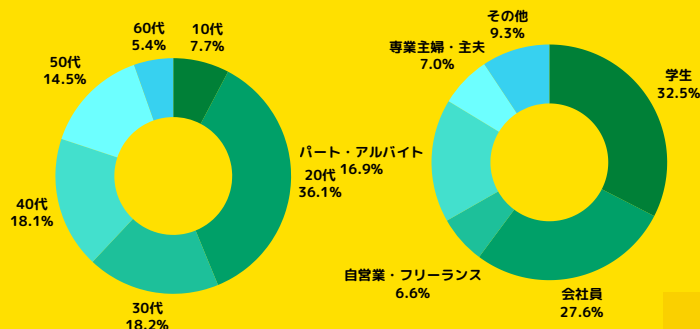


登録ワーカー数

1,420万人以上！

スマホアプリのサービスだから、利用者の80%以上が10代~40代！全国各地の大学生から会社員まで、幅広く利用されています！

※ワーカー数は2026年4月末時点の人数です。



※データは2025年12月時点のアプリ登録情報を基に算出

安心してラクに運用できるからこそ、
多くの事業者にご利用いただいています。

タイミーなら運用
もラクチン♪

雇用契約

労働条件通知書の自動生成
(作成作業は不要)

給与

給与の立替払い
(ワーカーごとの振込不要)

税金・保険

源泉徴収日額表の丙欄適用 源泉所得税
が発生しない範囲での求人掲載が可能

社保加入・継続雇用の対象外
月88,000円を超えないようシステムで管理

給与支払報告書・マイナンバー回収・
源泉徴収票の提出不要
(年30万円を超えないようシステムで管理)

費用負担を抑えて 人手を確保いただけます！

(タイミーは完全成果報酬型！)

初期費用	0円
求人掲載料	0円
運用支援費用	0円
システム手数料	交通費を含む日当報酬の30%
振込関連手数料	1人あたり220円

✓ 求人掲載費用0円！

✓ 無料で長期採用！

交通費を含む日当報酬の30%が手数料として発生しますが、求人掲載費用や紹介料など、それ以外の費用は一切かかりません。(振込関連手数料のみ、ご負担をお願いします。)

また、ワーカーを長期採用した場合も、タイミーへの報告義務や費用は発生しません。

【開設】



Timee

担当：中村 武

電話：070-5027-6492

mail：takeshi.nakamura@timee.co.jp



【農業分野のスポットワーク利用実態レポート】 事業者・募集件数ともに順調に伸長 タイミーを通じて長期採用も実現

日本における重要な産業の一つである一次産業は、少子高齢化と都市部への人口流出を背景に、近年人手不足が深刻化しています。農林水産省が2025年11月に公表した「農林業センサス(※1)」によると、基幹的農業従事者数(※2)は102.1万人で、5年前の前回調査から25.1%減少しました。平均年齢は67.6歳で前回調査よりも0.2歳低下したものの、依然として農業従事者の高齢化が課題となっています。

そんな中、近年タイミーでは農業をはじめとする一次産業でのスポットワークの利用が拡大しています。2023年11月より農業専門チームを立ち上げ、さらに2024年11月は領域を広げ一次産業に特化したチームをつくり、事業者と働き手をサポートしています。本レポートでは、そんなタイミーにおける一次産業でのスポットワークの利用実態やタイミーをきっかけに長期採用に繋がった事例などをご紹介します。

※1 農林水産省「[2025年農林業センサス結果の概要\(概数値\)](#)」

※2 農業従事者のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

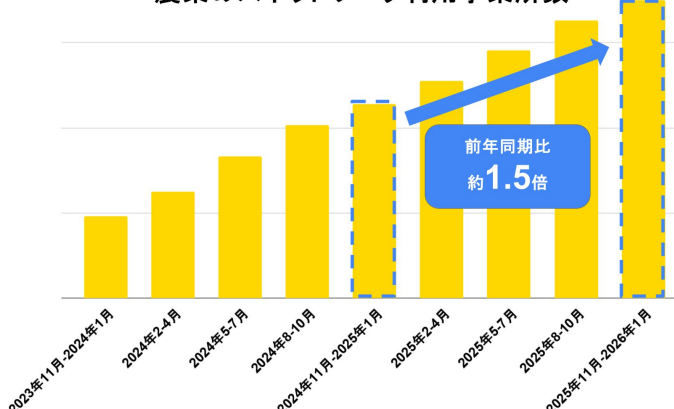
TOPIC

農業で拡大するスポットワーク利用 導入事業者・募集件数ともに伸長

タイミーを導入する農業の事業所数は、2025年11月-2026年1月期には前年同期比約1.5倍となっています。事業所数の増加に伴い、求人掲載された募集件数も増加傾向です。2025年8-10月期には農業の募集件数は過去最高となり、前年同期比では約3.0倍となりました。

旬の時期が決まっている作物や水産物を扱い、天候や自然環境に影響を受けやすい一次産業は、繁閑の波や突発的なニーズに合わせて人員が確保できるスポットワークとの親和性が非常に高いため、スポットワークが人手不足の解決策として取り入れられています。

農業のスポットワーク利用事業所数



農業のスポットワーク募集件数

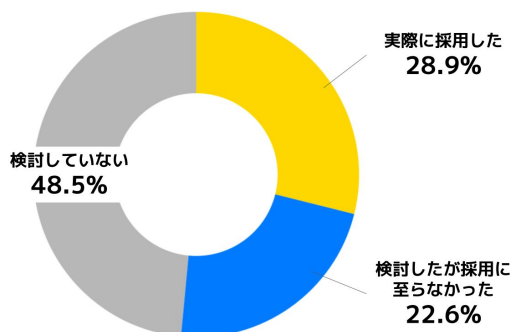


TOPIC

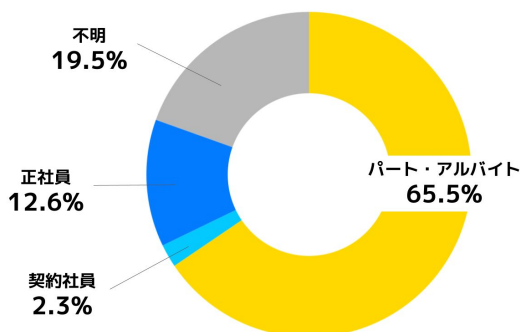
約3割の農業事業所がスポットワークをきっかけに長期採用を実現

当社はタイミーを利用する農業の事業所担当者301名に対して、「タイミーを通じた長期採用に関するアンケート」を実施しました。その結果、**約3割(28.9%)がタイミーを通じてスポットワーカーを長期採用できた**と回答。長期採用を検討している／していた事業者に限定すると、その成功率は半数を超える56.1%に達しています。また、**12.6%が正社員としてワーカーを長期採用**しており、スポットワークが正規雇用の入り口になっていることもわかりました。

タイミー経由でマッチングしたワーカーを
長期採用したことはありますか？
(n=301)



長期採用した方の雇用形態
(n=87)

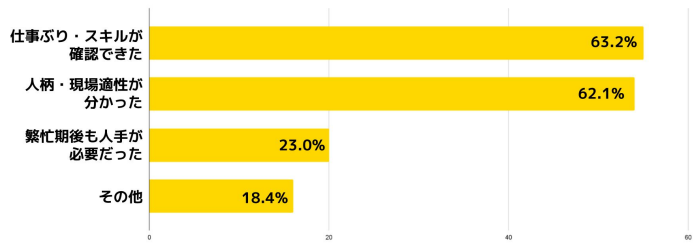


<報道関係者様からのお問合せ先>

株式会社タイミー 広報担当: 荒川 TEL: 080-4814-0762 pr@timee.co.jp

長期採用に繋がった事業者にその理由を聞いてみると「仕事ぶり・スキルが確認できた」「人柄・現場適性が分かった」と回答した割合が6割以上でした。スポットワークを通じてまずお試しで働いてみることで、事業者は面接や履歴書だけではわからない、働きぶりや人柄などを確認できます。また、働き手も業務内容や職場環境を知ることができるため、双方が納得した上での長期就業が可能となります。こうしたスポットワークの仕組みがミスマッチを低減することに繋がっていると考えられます。

長期採用に繋がった理由
(n=87) ※複数回答



▼タイミーを通じて長期採用を実現した事業者の声

県外からの移住者をタイミーを通じて長期採用（長野県・フルーツ農家）

県外から移住してきた方がタイミーを通じてマッチング。当初は果樹栽培において重要な工程である「摘果（※3）」の作業補助の業務を任せていました。ワーカーの活動的な人柄や慣れない農作業に積極的に取り組む働きぶりに魅力を感じ、パートスタッフとして長期採用が実現しました。繁忙期の忙しいタイミングであっても自ら積極的に動いてくれる存在として現場の大きな力となっています。

農業未経験の20代を即戦力として長期採用（大分県・野菜農家）

20代の農業未経験の若年層がタイミーを通じてマッチング。当初は収穫後の野菜の洗浄や選果（※4）など出荷工程で発生する作業の補助業務を任せていました。ワーカー自身、もともと農業に興味があり、黙々と作業することが合っていると感じていたことから長期採用が実現。現在では野菜の定植（※5）から収穫までの一連の業務をメインで担当する即戦力として活躍しています。

現場での対話からスキルが判明し、正職員へ登用（静岡県・JAハイナン（ハイナン農業協同組合））

タイミーを通じて育苗センターの作業補助にマッチングした40代女性。当初は単発のスタッフとしての勤務でしたが、現場での仕事ぶりや、周囲への細やかな配慮、気配りが職員の目に留まりました。複数回の勤務を通じて会話をすることで、前職で農業関連の販売やイベント企画に携わっていたというキャリアが判明。通常の求人媒体では応募が少なかった中、現場での実務を通じて本人の高い適性や専門スキルを直接確認できたことが決め手となり、長期採用の声がけをしました。しばらくパート・アルバイトとして勤務しており、今年4月より正職員として登用。現在は事務や補助事業の業務に従事しており、将来的には管内の農業に関するイベント企画の担当者としての活躍が期待されています。

※3 摘果（てきか）：果樹や果菜などで、果実が付きすぎた場合に余分のものを幼いうちに摘み取ること。均一でよい品質の果実を得るために行なう

※4 選果（せんか）：果実をその大小、品物のよしあしなどによって選び分けること

※5 定植（ていしょく）：育苗（ポットなどで苗を育てること）した植物を、畑やプランターなど最終的に収穫を迎える場所へ植え替える作業

【調査概要】

調査名：タイミーを通じた長期就業に関するアンケート

調査期間：2026年1月9日～3月30日

調査対象：「タイミー」を導入する農業の事業所担当者 301名

エリア：47都道府県

調査方法：インターネット、電話

タイミーの農業分野に対する取り組み

一次産業専門チームを組成し、地方自治体やJAと連携しながらスポットワーク活用を推進

当社は農業をはじめとする一次産業の深刻な人手不足を受けて、2023年11月より農業専門チーム、2024年11月にはさらに領域を広げ一次産業に特化したチームをつくり、事業者・働き手へのサポートを強化しています。地方自治体やJAなどの経済団体とも連携しながら各地域で説明会や個別相談会を実施することで、農家やJA関係者などに向けたスポットワークの活用を推進しています。

ガイドブックやマニュアル作成を通じて事業者・働き手をサポート

事業者がタイミーを通じて求人掲載する際のポイントなどをまとめた専用ガイドブックを制作しているほか、一次産業専門チームの担当者が実際に業務を体験し業務の切り分け方法を提案するなど、スポットワークを導入しやすい体制を整える取り組みを行っています。また、働き手向けに業務内容や服装などを文章や写真と共に細かく掲載したマニュアルを準備するなど、農業未経験の方であってもすぐに働けるような取り組みも行っています。



事業者向けのガイドブック（イメージ）